



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

TIAニュース

やあ!

1998
NOVEMBER
No.58 11

市町村文化財紹介 茂木町

松山薬師堂・木造薬師如来坐像

松山薬師堂は、母屋、向拝に丸柱を使い、欄間には風神、雷神の彫刻がある。天井は高く、格天井には花鳥図などが描かれている。四方回廊には宝珠柱が立ち、正面向拝が伸び出て雄大荘厳にして美しく、室町時代の建築様式を表している。

木造薬師如来坐像は、松山薬師堂の本尊で、鎌倉時代の作と伝えられる。美しい眉と彫りの深い口元、広い胸がこの像を慈愛と威厳のある堂々としたものになっている。

松山薬師堂は茂木町指定有形文化財、木造薬師如来坐像は県指定有形文化財である。



Hiyama Yakushi-do and the Seated Wooden Yakushi Nyorai (the Buddha of healing)

Hiyama Yakushi-do is famous for its main complex; the use of round columns for the Kohai (where prayers worship) and carvings of Fujin (the god of wind) and Raijin (the god of thunder) above the doors. It has a high compartment ceiling with the glorious image of flowers and birds. Each side of the corridor is supported by pillars shaped like flames.

The Seated Wooden Yakushi Nyorai is the main image of Hiyama Yakushi-do and it is supposed to be built in the Kamakura era. Details of the image include beautifully shaped eyebrows, distinctly-carved lips and a broad chest signifying benevolence and the glory of the Buddha of healing.

Hiyama Yakushi-do is designated as one of the town's cultural properties and the Seated Wooden Yakushi Nyorai is also assigned as a prefectural cultural property.

カメラルポ

とちぎインターナショナル フェスティバル '98

- ◆ J E T コーナー ネイサン・ウィルソンさん
- ◆ 国際交流団体紹介 栃木県青年国際交流機構
- ◆ マンガ 「そこがダメなの国際協力」
- ◆ トピックス フランス・ヴォークリューズ県から、県議会代表团、大学生、高校生が来県ふるさとづくり事業でブラジルから2名来県
- ◆ インフォメーション 日系人労働者のための「合同研修会」及び「日本語講習会」

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia>

JETコーナー

外国語指導助手

ネイサン・ウィルソンさん
(オーストラリア出身)



こんにちは。ネイサン・ウィルソンと申します。栃木県立宇都宮高等学校に勤めているJETプログラム3年目のALT(語学指導助手)で、オーストラリアのタスマニア州出身です。そうです。タスマニア・デビルで有名な所です。

オーストラリアでは、イギリス英語に由来する英語を話しますので、私は若い頃から英語にも色々な種類の英語があると知っていました。出身国によってスペルや発音が変わることも分かっていましたが、違う種類の英語を母国語とする国民が私の英語を「分からない」とは思いもしませんでした。英語を教えるために日本に来てから、英語にも色々な違いがあることが分かってきました。

私が日本に着いて、ALTとして前任者

のアメリカ人の後を継いだ時、生徒は私の発音があまり分からないのではないかと思います。ところが、「やっぱりそうでした!」ところが、1か月後くらいには生徒たちも私の発音に慣れ、彼らの英語の理解力はもっと上達したと思います。しかし、私は、英語を母国語とする人が、日本人の学生と同じように、私の英語が理解できないことがあるとは思いませんでした。オーストラリアに住んでいると、イギリスのテレビ番組もアメリカのテレビ番組も見られるので、さまざまな英語に慣れます。だから、時々、違う種類の英語を話す友達にたのまれて、その会話を通訳したり、彼らのために単語をゆっくり繰り返して言ってあげます。それはそれで全然構わないのですが、英語を母国語とする人でも、時々自分たちの英語が理解できないという現象はとも面白いと思います。

Nathan Wilson

G'day, I'm Nathan Wilson. I'm a third year ALT with the JET Programme currently working at Utsunomiya High School. I come from Tasmania, Australia. Yes. The place with the Tasmanian Devils.

Being Australian, and speaking a derived form of British English, I'd grown up with the basic

knowledge that there are differences in the English language. I knew that spelling and accent varied depending on where you came from, but I'd never thought about people from other "English" speaking countries not being able to "understand" my English. Coming to Japan to teach English has really opened my eyes to the vast complexities of the English language.

When I arrived in Japan replacing a stream of American ALTs, I expected the kids to have trouble with my accent which they did.

However, after a month or so they worked it out and their knowledge of English as a whole is the better for it. It never occurred to me that other native English speakers would share my student's torment. Living in Australia watching both British and American TV, you get used to all kinds of English, so sometimes I'm asked to translate, (or just repeat slowly) conversations between friends from different English speaking backgrounds. I don't mind at all, but I think it's really interesting that even we English speakers have trouble with each others English.

(英文、日本語とも本人)

国際交流団体紹介

栃木県青年国際交流機構

栃木県青年国際交流機構、通称栃木I.Y.E.O.(International Youth Exchange Organization of Tochigi)の歴史は古く、昭和34年、現在の天皇陛下のご成婚を記念して発足した「日本青友会栃木支部」がその前身です。

その後、総務庁主催の「国際青年育成交流事業・世界青年の船・東南アジア青年の船」参加者の事後活動を通して、国際交流促進と参加青年を発掘養成する目的で、昭和62年4月に設立され、現在、会員数は150名を超え、毎年3～4名の新会員を加えています。

当会の主な活動は、総務庁の「外国青年招聘事業及び国際青年の村」参加外国青年

の地方プログラムを担当すること、JICA(国際協力事業団)主催の「21世紀のための友情計画」参加外国青年の地方プログラムを担当すること、などです。本年度も、5月の「JICAインドネシア青年」受入れに始まり、7月には総務庁「ブラジル・ジンバブエ・ウズベキスタン青年」、10月は「日韓青年親善交流」などの受入事業を行っています。また、日本国内はもとより世界各地のI.Y.E.O.の支部と連絡を取り合い、情報交換、国際協力活動などを行っています。会員の持っている知識や経験が大いに生かせ、かつバラエティに富む活動ができることは特色でもあり誇りでもあります。

更に自慢できる点は、I.Y.E.O.での活動を通して得たことを各自の職場なり団体活動で実践できることです。また、仕事や家庭の事情等でしばらく活動できなくても、活動可能な状態になれば即復帰ができること、仮に他県に移ってもその県のI.Y.E.O.で活動できる組織体制がきちんと整っていることです。現在多くの会員が、職場や団体で活躍しています。

親子ほどの年齢差がある会員が、ひとつの目標に対し、ともに活動できるというのも、伝統と経験に若さという組み合わせが功を奏しているのだと思います。

近年、あらゆる分野で「国際理解」が叫ばれ、国際交流の推進が求められています。私たち会員は、日本青年代表として貴重な経験をさせていただいたお返しの意味も含めて、会員一人一人が日本と世界の架け橋となれるよう、これからも活動していきたいと考えています。(会長:手塚美保子 ☎028-682-2303)



▲ジンバブエ青年たちと記念撮影

TIAライブラリー案内

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●青年海外協力隊の正体



「ボランティア」という言葉の本当の意味を解明するため、ジャーナリストである著者は、30年以上の歴史を持つ海外ボランティアの元祖、青年海外協力隊に着目し、本格的な取材を試みる。しかし、その実像は想像以上に複雑で奥深い。自身の26年の経験を基に「海外ボランティア」の本質に迫る、本格的ノンフィクション。(吉岡逸夫著/三省堂発行/1,500円+税)

●アジアのBCG～東洋の「生きる力」を読みとる



本書は、戦後日本の文化・文明の中で見失われてきたアジアのB(美)・C(思惟)・G(慈)の基本的要素について述べるとともに、日本とアジアの共存のあり方を探り、東洋の「生きる力」

の根源について考える書。西側の文化・文明の影響を受けて生きる日本人に、アジアへの回帰を説く本書は、きわめて今日的価値を持つ。(神長善次著/三田出版会発行/1,800円+税)

●ももこの世界あっちこっちめぐり



人気マンガ「ちびまる子ちゃん」の作者として有名な著者が、雑誌の企画で旅した外国のできごとをエッセイとしてまとめたもの。カラー写真やイラストを多く配してあり、読みやすい。家族

との日常の延長線上にある旅日記だが、著者の発想と着眼点のユニークさが光る。(さくらももこ著/集英社発行/1,200円+税)

TIAライブラリー利用のご案内

・図書・ビデオ等を借りるには貸出券が必要です。貸出券はとちぎ国際交流センター1階受付カウンターでお作りします。(身分証明書の提示をお願いします。)

知ってて得する なんでもQ&A

【ワーキングホリデーについて】

最近、ワーキングホリデーを利用したなどのくらいの語学力がつくかとの相談がありますが、ワーキングホリデーの趣旨は語学留学ではなく、現地で休暇を楽しみながら滞在費や旅行資金を補うため付随的に働くことが可能である制度のことです。

現在日本はカナダ・オーストラリア・ニュージーランドとこの協定を結んでいます。来年の4月からは韓国も加わるようになりました。対象者は18歳から25歳まで(国によっては30歳まで)、期間は6カ月から1年間と国によって差があります。この制度についてのお問い合わせは、下記のと

ころまで：
(社)日本ワーキング・ホリデー協会
03-3389-0181

第38回 国際理解・国際協力のための 全国中学生作文コンテスト 栃木県大会

国際連合の普及啓発活動の一環として実施されている「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」栃木県大会の審査が去る9月18日に行われ、入賞者が決定した。今年度は県内19校から50編の応募があった。各賞の受賞者は次のとおり。(敬称略)

最優秀賞(1編)

〔国際理解―ミーンソンを通じて―〕

宇都宮市立豊郷中学校3年 南館 奏

優秀賞(2編)

〔世界に目を向ける〕

宇都宮市立豊郷中学校3年 岡本万里英

〔地球市民の一人として生きること〕

田沼町立西中学校3年 石井克幸

努力賞(3編)

〔「国際協力」について〕

小山市立小山中学校3年 竹内大志

〔温かい心で〕

栃木市立吹上中学校2年 森戸裕美子

〔落ちついた時間の中で〕

壬生町立南犬飼中学校3年 野村亜矢

なお、入選作は全編、東京で行われる全国大会に推薦された。

そこがダメなの 国際協力

もうすぐ年末。年末と言えば大掃除。掃除で出た要らないモノの山。でも、未使用のものを捨てるのは気が引ける。かといって思いつきで行動してしまうと……。



◆当然前のことですが、物資輸送には送料がかかります。また、送付する物によっては、相手国で課税対象物品となることがあり、別途税金を納めなくてはならないこともあります。

救援物資の収集は、必要(相手国の要請)に応じて行われることがほとんどです。また、既に集まっている物品の梱包料や送料などの輸送コストのみを援助してくれる団体等はほとんどないのが現状です。

援助物品を収集する時は、収集後の送料等の支出をどうするかという目処がたつてからにしましょう。

10:00 スタート 主催者あいさつ



10:10 オープニング演奏



10:30 振り袖着装



健康診断もやってました



バンブーダンス講座



もちつき



お茶



コーヒーは
ブラジルが
一番ね!



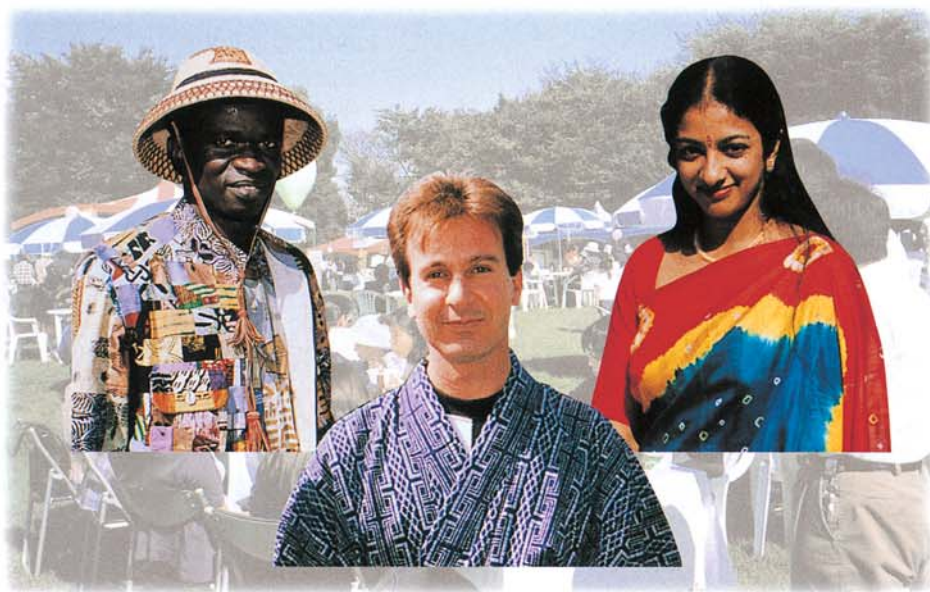
10:55 フィリピン舞踊



11:20 新舞踊



12:00 インドネシア舞踊



12:40 バンド演奏



13:10 世界の言葉



開催日時 平成10年10月11日(日)
10:00~15:00
開催場所 あけぼの公園(宇都宮市明保野町)
当日の天気 晴天 来場者数 12,000人 協力国際交流団体数 26団体
内 容 メインステージ・民族舞踊、音楽、振袖着装など
場内各テント・団体活動紹介、外国料理試食、民芸品の展示・販売、各国(日本含む)文化紹介、各種相談受付など
主 催 財団法人栃木県国際交流協会 国際協力事業団
後 援 栃木県 栃木県教育委員会 栃木県市長会 栃木県町村会 宇都宮市 宇都宮市教育委員会 下野新聞社 NHK宇都宮放送局 栃木放送 エフエム栃木
協 賛 あしぎん国際交流財団 カルビス 国際電信電話 栃木県米消費拡大推進協議会 日本航空
協 力 足利銀行 宇都宮信用金庫 近畿日本ツーリスト ツニプラトラベル 栃木銀行 日通旅行 日本交通公社 日本赤十字社栃木県支部 日本旅行

14:20 抽選会



14:00 日光和楽踊り



13:40 どじょうすくい



T TOPICS

フランス・ヴォークリューズ県から 県議会代表团・大学生・高校生が来県

「日本におけるフランス年」の今年、栃木県の友好交流先であるフランス・ヴォークリューズ県から、毎年受け入れている大学生及び高校生の団に加え、県議会代表团が来県した。大学生は10月18日から27日までの10日間、高校生は10月27日から11月7日までの12日間、議会代表团は10月20日から27日までの8日間、それぞれ日本（栃木県）に滞在した。



▲歓迎会での議会代表团。渡辺知事と。

▼県立中央公園にて（右端は引率のルレ氏）



大学生はアヴィニョン食品産業経営高等学院で食品流通を勉強しているソフィ・ル・ムワニユさんとステファニ・サン・ジャンさんの2人。ヴォークリューズ県産ワインの販売促進活動や日本でのワイン流通について学ぶなどした。

高校生はイルシュラソルグ市から女子高校生が2名、カヴァイヨン市から男子高校生が3名来県。県内や東京視察の後、メインプログラムである今市高等学校での体験学習や生徒宅でのホームステイに移り、日本の学生と一緒に高校で授業を受けたり、休日をも日本の家族と過ごすなどした。

議会代表团はヴォークリューズ県議会経済労働委員会委員長のアラン・ミロン団長外8人。団員は民間のレストランのオーナーシェフや陶芸家、ぶどう園経営者など。栃木県内で料理人をを目指す高校生のための料理講習会などを開催したり、ワインプロモーションなどを行った。

ふるさとづくり事業で 日系ブラジル人が来県

日本からブラジルへの移住が始まってからちょうど90周年にあたる今年、日本国内とブラジル国内の地域開発事業の活性化を図り、日伯両国の交流を促進するため、ブラジルの日系人青年リーダー及び地域リーダーを招聘する「ブラジルとの国際交流を通じたふるさとづくり事業」が、同実行委員会（事務局：財自治体国際化協会内）により10月20日～10月29日の10日間実施された。

TIAでは、10月23日から10月28日までの地方交流プログラムの部分を受け入れた。来県したのは大貫民信エンリッケさんと田中長沢チアゴさんのお二人。県副知事、TIA理事長などの表敬訪問のほか、益子町、烏山町、日光市などの県内視察、親族宅でのホームステイなどを行った。

▶日光視察（三猿）



ふるさとマロニエフェア ヴォークリューズ館開設

10月23日～25日に開催されたふるさとマロニエフェア'98。

今年は特にヴォークリューズ館を設け、例年行っているワインの試飲会に加え、軽食の提供や陶芸実演、ワイン・セミナーなども行った。

来場者にワインをすすめる仏大学生



陶芸実演を披露するシニョレ氏



開会式

突然 乾杯が始まった



ヴォークリューズ館外観

情報発信

地域の国際交流案内

★留学生の受入家族募集

国際理解教育促進のために世界各国の高校生を対象とした交換留学プログラムを実施している(財)A F S日本協会栃木支部は、下記の内容で、ホストファミリーを募集しています。

▶受入期間=平成11年3月末から平成12年2月上旬までの約11か月間 ▶ホストファミリーにご負担いただくもの=家族の一員として必要な諸経費(食費、光熱費等)
▶留学生の出身国=世界約20カ国 ▶主な受入高校所在地=宇都宮市、黒磯市、栃木市、小山市、氏家町 ▶問い合わせ=(財)A F S日本協会 栃木支部 船田千絵さん ☎028-633-7764

★インターナショナル・ボランティア・トレーニング・プログラム

イギリスで英語を学びながら、ボランティア活動で自分を磨くプログラムです。
▶研修先=Torquay, Hastings, Newcastle, Plymouth, Chester, Bath の語学学校(英国内) ▶研修目的=ボランティア体験(チャリティーショップ、老人ホーム、託児所などでの手伝い)・野外環境(文化財保護)ワーク・英語研修(レベル別)と国際機関・NGO団体・日系製造企業訪問などの自己研修 ▶研修期間=約1か月 ▶募集人員=各研修先8名~15名 ▶対象=18歳以上の男女。体力・気力・協調性があり、健康でボランティア活動に積極的にに関わり、英語による基本的なコミュニケーションができる(国連英検C級程度の)人 ▶

説明会=12月5日 16:00-18:00(要予約)
☎03-3205-0881 ▶説明会場=早稲田奉仕園(地下鉄東西線早稲田駅下車徒歩5分 穴八幡裏手) ▶企画=UNAJ(財)日本国際連合協会 ▶問い合わせ=CI IVTP 係 ☎& Fax 03-3205-0881, E-mail ci@gol.com インターネット最新情報は<http://www.come.to/ci>

★実用日本語検定(J.TEST)

1991年から実施されている外国人のための日本語能力試験。日本語中級~最上級者のための試験です。
▶試験日程=1月30日 ▶締切=1月20日 ▶受験料2,100円 ▶試験地=札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡で実施 ▶その他=得点により6段階評価。聴解500点読解500点(計1000点満点) ▶問い合わせ=日本語検定協会/J.TEST事務局 ☎03-3368-8106

★アメリカ・カナダ高等学校交換留学

▶留学コース=(a)留学準備プログラム参加コース、(b)レギュラー・コース ▶留学期間=(a)1999年7月の1学期終了後~2000年6月 (b)1999年8月中旬~2000年6月 ▶留学費用=アメリカ(a)127万円 (b)99万円、カナダ(a)157万円 (b)129万円 ▶募集締切=第3出願締切1998年11月30日、第4出願締切1999年1月31日 ▶合否発表=受験後14日以内に本人に通知 ▶問い合わせ=AISE(アイセ)日本事務局 ☎03-5280-4471

★オーストラリア ニュー・サウスウェールズ州教育省 高校1年間留学プログラム 現在、日本の高等学校に通学している生徒がニュー・サウスウェールズ(NSW)州教育省指定の語学学校での語学研修と現地高校基礎科目を終了後、NSW州立高校に編

入するプログラムです。

▶応募資格=①高等学校在学中であること ②過去2年間に於ける主要5教科の成績が5段階評価で平均3.0以上。ただし、英語に関しては平均3.5以上であること。③在学中の高等学校長からの推薦を受けることができること(推薦を受けられない場合は1次審査を受けていただきます) ④心身ともに健康で、留学先での生活に適應できること ▶出願締切=出発前年度の11月末日 ▶選考試験=1次審査(学校長からの推薦状がある場合、1次審査は免除となります):筆記試験(英語・数学・国語) 2次審査:①面接(本人及び保護者) ②作文 ▶問い合わせ=オセアニア交流センター ☎03-3402-0204

T I A 日誌

1998年9月1日~1998年10月31日

- 9/9 海外技術研修員県内視察
(~10、日光市ほか)
とちぎインターナショナルフェスティバル第2回運営委員会(センター)
- 9/18 国連中学生作文コンテスト審査会
(センター)
- 10/11 とちぎインターナショナルフェスティバル'98 (あけぼの公園)
- 10/20 浙江省友好絵画展:応募絵画受付
(~31、センター)
- 10/21 フランス・ヴォークリューズ県議会代表団T I A 理事長表敬
- 10/23 ブラジルとの国際交流を通じたふるさとづくり事業地方プログラム受入
(~28)
ふるさとマロニエフェア
(~25、栃木県主催/宇都宮市)
- 10/27 日仏青少年短期研修生受入(~11/7)

JTB For Your TravelLife

デパート共通商品券

全国で使えるJTBの「ナイスショップ」。

全国のデパートで自由に好きなものを選んでいただける、JTBのデパート共通商品券「ナイスショップ」。旅のJTBは全国に約1,200店もあるので、ちょっと思いついた時どこでも気軽にお求めいただけます。すぐ近くで買って、だれにでも贈れる「ナイスショップ」。便利で、みんなにうれしいプレゼントです。

●500円券 ●1,000円券 ●5,000円券の3種類

JTB宇都宮支店028(622)1803

宇都宮市馬場通り1-1-8

優雅な時間への、おもてなし。

四季の変化を、華やかに映す二万坪の大庭園。
季節の花に彩られた館内。
古き良き伝統を受け継ぐ、宇都宮グランドホテルは、
優雅な時をお客さまへ贈ります。
思い出深いひとときを過ごされますよう、
笑顔と温かいおもてなしを添えてお迎えいたします。



UTSUNOMIYA GRAND HOTEL
宇都宮グランドホテル
宇都宮市西原町142 TEL 028-635-2111

★南米日系人労働者のための合同研修会及び日本語講習会開催

財産業雇用安定センターでは、日本の労働慣習や生活習慣、日本語に習熟していない南米日系人労働者を対象とし、職業生活全般にわたっての「合同研修会」及び「日本語講習会」を開催する。

▶日時＝1998年11月29日(日)13:00～16:30

▶場所＝山王会館(栃木県真岡市並木町3-2-8 ☎0285-84-4188) ▶対象者＝真岡市並びにその周辺市町に居住し、中堅企業で働くポルトガル語圏及びスペイン語圏からの南米日系人労働者 ▶参加料＝無料(教材等は無料配付) ▶内容＝日本語講習会(職場で使える基礎会話の授業を行う)及び合同研修会(職場で働く上で知っておきたい労働法、税法、福利厚生などについての講義、及び質疑応答) ▶問い合わせ＝財産業雇用安定センター栃木事務所 ☎028-623-6335)

★SEMINÁRIO E AULA DE LÍNGUA JAPONESA PARA OS TRABALHADORES NIKKEIS

Convidamos todos os trabalhadores Nikkeis a participarem do SEMINÁRIO E AULA DE LÍNGUA JAPONESA que visam uma melhor compreensão e integração aos costumes japoneses e ao ambiente de trabalho no Japão.

▶Data & Horário: 29/11/98 (domingo)

13:00 ~ 16:30

▶Local: Sano Kaikan (3-2-8 Namiki-cho, Moka-shi, ☎0285-84-4188)

▶Participantes: Aos Nikkeis residentes nesta província e ao redor da cidade de Mooka que

falam português e espanhol.

▶Taxa de participação: Gratuita

▶Programa:

AULA DE JAPONÊS: Aula de Japonês para principiantes.(Explicação em português)

*Distribuição gratuita de livro didático SEMINÁRIO: Através de videos e exposições orais em português, os participantes receberão informações sobre leis trabalhistas, seguro social, impostos,etc...

▶Informações:Centro de Estabilização de Emprego na Indústria, Escritório de Tochigi ☎028-623-6335

★ORIENTACIÓN Y CLASE DE IDIOMA JAPONÉS PARA LOS TRABAJADORES NIKKEIS

Invitamos a todos los trabajadores Nikkeis a la ORIENTACIÓN Y A LA CLASE DE IDIOMA JAPONÉS con el objeto de profundizar los conocimientos respecto a las costumbres de la vida cotidiana y del trabajo en Japón.

▶Fecha y Horario: 29/11/98 (domingo)
13:00 ~ 16:30

▶Local: Sannou Kaikan (3-2-8 Namiki-cho, Mooka-shi, ☎0285-84-4188)

▶Participantes: los trabajadores Nikkeis que hablan español y potugués que residen en Tochigi y también en contornos de la ciudad de Mooka.

▶Gastos: Gratuitos

▶Contenidos:

CLASE DE JAPONÉS; clase de Japonés para principiantes.(Explicación en español)

*Distribución gratuita de libro didáctico

ORIENTACIÓN; Mediante videos y exposiciones orales en español, los participantes recibirán informaciones sobre leyes laborales, seguro social, impuestos,etc...

▶Informaciones: Centro de Estabilidad Laboral de la Industria, Oficina de Tochigi ☎028-623-6335

★青年海外協力隊秋募集

▶募集期間＝11月30日まで ▶応募資格＝20～39歳までの日本人▶派遣国＝アジア、アフリカ、中南米、中近東、東欧など▶派遣期間＝2年 ▶応募方法＝所定の願書を青年海外協力隊事務局に提出 ▶選考試験①一次選考＝技術・英語・適性テスト／各都道府県で実施／12月20日 ②二次選考＝個人面接・技術面接・健康診断／東京にて実施／2月3日～12日のうちの指定する日▶願書送付・連絡先＝青年海外協力隊事務局☎03-5352-7261

T I A 賛助会員募集中!

賛助会員になっていただきますと、T I A の機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ(海外→日本、日本→海外)をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、T I A の様々な事業に使わせていただいております。地域の国際化のために役立っています。

○天候不順の今年は10月も雨続き。とちぎインターナショナルフェスティバル会場となるあけぼの公園でも、テント設営に入る9日(金)まで雨が降っていましたが、10日に天気持ち直し、11日のフェスティバル当日は、文字通り、雲ひとつない秋晴れとなりました。今年のフェスティバルには、石橋高校の生徒さん10名が「事業所体験学習」の一環として参加、運営スタッフアシスタントとして頑張ってくれました。感謝×2。

○フェスティバルの本部及び受付で行ったアジア学院への募金総額は44,213円でした。ご協力、ありがとうございました。



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業務時間 8:30～17:15
休館日/日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄附金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けております。当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。